

PFAS対策特集 — 調査、測定分析から浄化技術まで

PFASフリーの地下水探水ツール



QED社製スナップサンブラーを用いた地下水探水技術



PlumeStop (REGENESIS社製)を用いた地下水対策技術

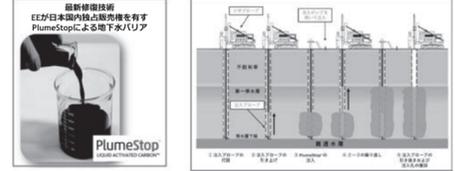


図 エンバイオ・エンジニアリングのPFASワンストップサービス

同社は、調査から計画、対策までワンストップで提供することを目指している。PFASの分布を的確に把握し、効果的に拡散防止を行う技術により、持続可能な対策を実現する。同社のPFAS対応に焦点を当てた技術力を踏まえた対応サービスを提供し、注目を集めている。地下

土壌・地下水汚染の原位置浄化で高い実績を誇るエンバイオ・エンジニアリング(東京都代田区)は、近年社会的関心が高まり続けているPFAS対策に焦点を当てた技術力を踏まえた対応サービスを提供し、注目を集めている。地下

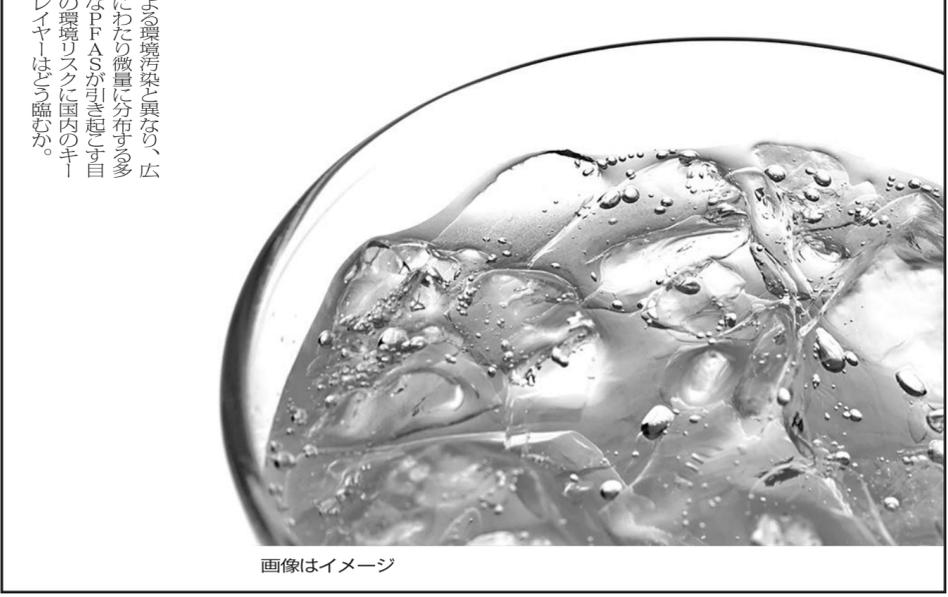
同社の原位置浄化対策のポイントは、調査から計画、対策までワンストップで提供することを目指す。PFASの分布を的確に把握し、効果的に拡散防止を行う技術により、持続可能な対策を実現する。同社のPFAS対応に焦点を当てた技術力を踏まえた対応サービスを提供し、注目を集めている。地下

土壌・地下水汚染の原位置浄化で高い実績を誇るエンバイオ・エンジニアリング(東京都代田区)は、近年社会的関心が高まり続けているPFAS対策に焦点を当てた技術力を踏まえた対応サービスを提供し、注目を集めている。地下

同社の原位置浄化対策のポイントは、調査から計画、対策までワンストップで提供することを目指す。PFASの分布を的確に把握し、効果的に拡散防止を行う技術により、持続可能な対策を実現する。同社のPFAS対応に焦点を当てた技術力を踏まえた対応サービスを提供し、注目を集めている。地下

有機フッ素化合物(PFAS)は、透過性地下水浄化壁工法(S)へのさらなる対策が動き「マルチバリア」の対象にPFASを追加。米市場の実績を伸ばして分岐・泡沫の悪影響を認め1日の耐容量を指針値をまとめた。環境省は水環境へ流出しにくい特徴を持つPFASに対し、市民生活へ影響が大きい水道水の水質管理上の取り扱いを改める検討を始め、水源となる公共水域・地下水の監視を強める。規制で先行する米国や欧州各国の状況を注視し科学的な知見を踏まえて対応を図る。

国内企業も対策技術の開発を加速。ゼネコン、エンジニアリング各社はそれぞれ独自性を打ち出す。大林組は土壌の重金属対応で培った不溶性処理を国内で初めてPFAS汚染に適用した。大成建設は有



各社の技術・製品 自治体・政府・企業のPFAS対策に貢献 潜在するリスク、先発の優位を握れるか 規制のゆくえ、固唾飲む企業 力な対策技術として研究が進む。流機エンジニアリングは独自のフィルター技術で粉末活性炭を吸着剤の地下水での浄化作用を最大化する処理システムを開発し商品化。PFAS除去に特化した活性炭フィルターをカートリッジとして製品化し販売拡大を図る。大流量にも対応できる粘土・ベントナイトを使用した吸着材「Bio Soil」(フルオロポリマー)で活性炭の数を倍という吸着性を訴求する。PFASは環境中でごく微量である上、厳密にリスクを回避するためには1万種にわたる膨大な種類の関連物質を調べなければならぬ。かつて公害問題を引き起こした局所・集中・単一の物質による環境汚染と異なり、広範にわたる微量に分布する多様なPFASが引き起こす自下環境リスクに国内のキープレイヤーはどう臨むか。